

みなさんお元気ですか。

暑さが日々増してきました。今月の様子です。ご覧ください。



2月11日

今日の午後は、サンディニスタ党（与党）の行進があり、道場へ行く途中の道路は、封鎖され結局稽古には行けず、引き返し午後の稽古は中止となった。ニカラグアは、一党独裁の専制主義国家だ。サンディニスタ党がニカラグアを牛耳っているようだ。黒と赤のバンダナを首に巻き、SFNLの旗を掲げて、マナグアを中心部を行進しながら、マナグア湖近くの政府本拠地まで大勢の人たちが歩いていった。この国は、与党とその反対派で分断されているのだが、最近になってこの格差を肌で感じるようになった。例えば、一つの例は、党員は仕事があり、富裕層が多いと感じる。反対派は、貧困層のように思える。そして、それが貧富の差に繋がっているように感じる。それでは、みんながサンディニスタ党に入ればいいのと思うがそうはいかないらしい。



他の例として、今日の出来事なのだが。道場の正面に掛け軸を置くスタンドを当道場の生徒（Daveさん）であり、大工さんでもある人に発注した。そしたら、JICAからお金を貰ってもその領収書を出せないと言ってきた。JICAにこの申請書を出すまでに6か月以上かかった。やっとJICAから承認をもらって、彼に注文したのに何事か、と私は腹が立った。なぜ彼は領収書を出せないのかが、非常に疑問に思った。

道場長の説明があつて、初めて分かった。Daveさんは自営でサンディニスタ党でもなく、政府から公認の会社として認められてないのだそうだ。そのような会社にはJICAは、政府非公認の領収書は受理しない、との事だった。サンディニスタ党員は一生懸命働いてもその金を、政府に吸い取られるのか、道理で無気力にもなるなあ。

ここでも、政府の独裁政治が関係してくるのか、と実感した。でもこうした政府に賛成している人も大勢いるのだなあ。とも感じた。



2月18日

日本大使館主催の日本祭に参加した。
大使館からの依頼もあり、ここで合気道の演武を披露した。その他にも柔道、空手、そして居合道の演武もあった。

この祭りでは、その他、日本語教室、沖縄の踊りやソーラン節なども披露された。さらに、写真（下部）にもありように、るろうに剣心のコスプレによる寸劇やカラオケなども行われた。私が驚いたのは、日本のアニメやカラオケがニカラグア人は本当に好きだなぁ。もうこれは、日本の文化というよりニカラグアの文化にすっかりなっている。と感じた。会場にきた観客もいっしょになってキャーキャーと言いながら、喜び楽しんでいる感じが伝わってきた。

